

第2弾 金融機関向け「ABLトータルサポートプラン」の提供開始

特定非営利活動法人日本動産鑑定(理事長 久保田 清、以下「日本動産鑑定」)は、動産・売掛金担保融資(Asset Based Lending、以下「ABL」)に取り組む金融機関を支援する「ABLトータルサポートプラン」の第2弾としてABL専用損害保険スキームに加え、『モニタリングの為の担保動産の写真撮影』・・・株式会社ベルシステム24(代表執行役社長 CEO 小松 健次、以下「株式会社ベルシステム24」)と『動産担保を取得して発生する事務処理に関する具体的には動産担保管理台帳のシステム管理』・・・株式会社オービック(代表取締役社長 橋 昇一、以下「株式会社オービック」)とそれぞれの2社と業務提携を致しました。

1.背景と目的

日本経済がデフレから脱却し、力強い成長を実現していくため、金融機関には、顧客企業と向き合い、顧客企業の経営改善や事業再生に向けた支援のみならず、適切にリスクを管理しつつ、新規融資を含む積極的な資金供給を行い、顧客企業の育成・成長を強力に後押しするという金融機関が本来果たすべき役割を一層発揮していくことが求められている。このため、平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」等も踏まえながら、金融機関における顧客企業の経営改善、事業再生、育成・成長につながる新規融資に関する積極的な取組みを促していくことが重要である。

2.「ABLトータルサポートプラン」の概要

金融機関のABLの取組みに必要とされる以下の5項目をパッケージ化してご案内します。金融機関、および融資先企業のご希望に合わせて、必要なメニューをご選択いただくことが可能です。

- ①ABL業務支援サービス(勉強会の開催・動産評価アドバイザー養成認定講座・通信教育・内部規程策定支援サービス)
- ②動産評価鑑定サービス(動産評価鑑定書の提供)
- ③**モニタリングサービスのご紹介(営業倉庫在庫管理システムの提供・モニタリングの為の担保動産の写真撮影・動産担保管理台帳のシステム管理)**
- ④動産処分ネットワークご紹介
- ⑤担保動産・売掛債権に対するABL専用損害保険スキームのご紹介
(引受保険会社:株式会社損保ジャパン)※当法人が保険募集をおこなうものではありません。

3.今後の展開

本件に関する株式会社ベルシステム 24 のサービス提供は平成25年10月より開始予定であり、このインフラ整備により今後のABLの発展に関して大きく寄与するものと思われます。株式会社ベルシステム 24 との提携理由としては、同社が長年培ったオペレーションノウハウがフィールドワークにおいても活用されることや、同社の全国43拠点とそのパートナー企業が展開するネットワーク性を評価したものです。提供サービスの概算コストは、1箇所当たり(全国すべての地域)2万円~3万円程度プラス交通費を予定。(地域により変動)

同じく本件に関する株式会社オービックの営業開始は平成26年3月を目処に開始を予定しております。取り組みに関するコスト等は、現在検討中。今後は株式会社オービックと連携してユーザー会などでセミナー等を実施していく予定。また、サービス提供に対するシステム面の環境整備として既に先行して推進してきた営業倉庫在庫管理システム(三井倉庫 株式会社との連携)や、日本動産鑑定における業務のIT化を図る動産評価鑑定書作成システム(株式会社 電通国際情報サービスの提供)に加えて、現在検討を進めている流通価格情報を提供するクラウドサービス等が実現することにより、益々トータルでのサービスが拡充される期待が広がります。

日本動産鑑定は、本サポートプランメニューの提供を通じて、ABLの推進をサポートすることにより、中小企業等の資金調達手段の多様化に貢献していきます。

以上

【本件に関するお問合せ先】

特定非営利活動法人日本動産鑑定 経営企画部長 大島 聡 電話:03-5652-1170